MODELLISTA

MSD43－30001/2
リヤスカート

取付・取扱要領書

この度は MODELLISTA リヤスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD43-30001-A0	プレシャスホワイトパール（090）	クラウンクロスオーバー	
MSD43-30001-C0	ブラック（202）		
MSD43-30001-C2	ニュートラルブラック（229）		
MSD43-30002-NP	未塗装品		

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧下さい。https://www.modellista.co.jp/

※以下の MODELLISTA 商品と同時装着する場合はリヤスカート（本商品）を先に取り付けてください。
・カラードフェンダー（MSD15-30001/2）

MODELLISTA

■構成部品

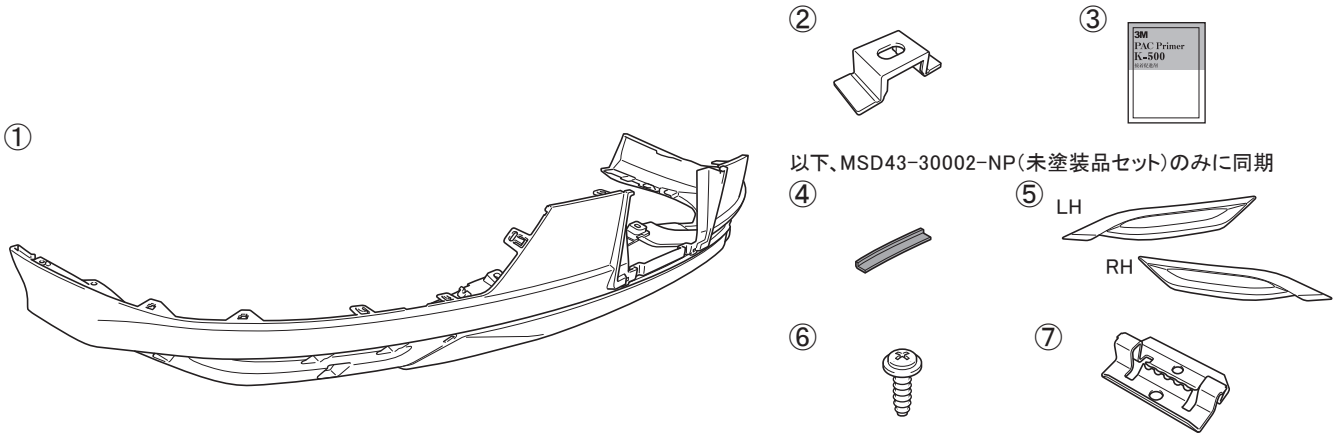
No.	部品名	数量	品番	備考
①	リヤスカート	1		
②	ブラケット	2		リヤフォグランプ装着車の場合、不要
③	PAC プライマー	1	08867-00230	K-500

以下、MSD43-30002-NP (未塗装品セット) のみに同梱

No.	部品名	数量	備考
④	L 字モール	1	ブラック L=20mm
⑤	メッキピース	各1	
⑥	タッピングスクリュー	8	
⑦	クリップ	2	

※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください

■構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、 誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、 車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に絞め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、傷付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時の傷付きや破損に十分に注意してください。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剝がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剝がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が15℃未満の低温時には接着力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剝がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行なってください。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剝がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

■目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 …… 1〜2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ） …… 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 …… 4
4. 取付準備、取付要領 …… 5〜9
5. 取付完了後の点検・注意事項 …… 9
6. 未塗装品の取り扱いについて …… 10〜12

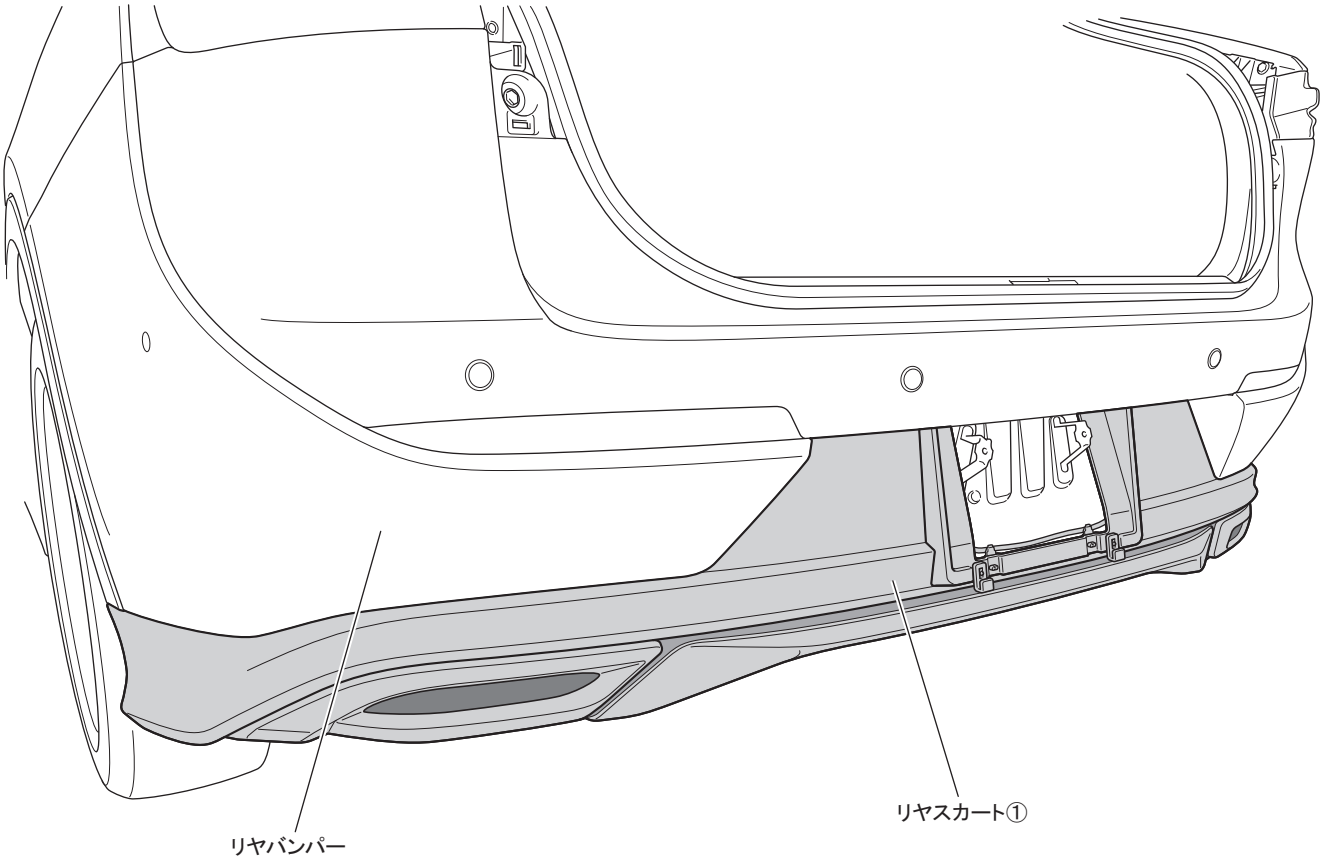
■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ・ヤスリ
・クリップリムーバー・保護メガネ
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■保証について

本商品は、1年・20,000 Km の保証を実施いたします。
（1年または20,000 Km 走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト〈https://www.modellista.co.jp/〉
「保証について」をご覧ください。

■取付構成図



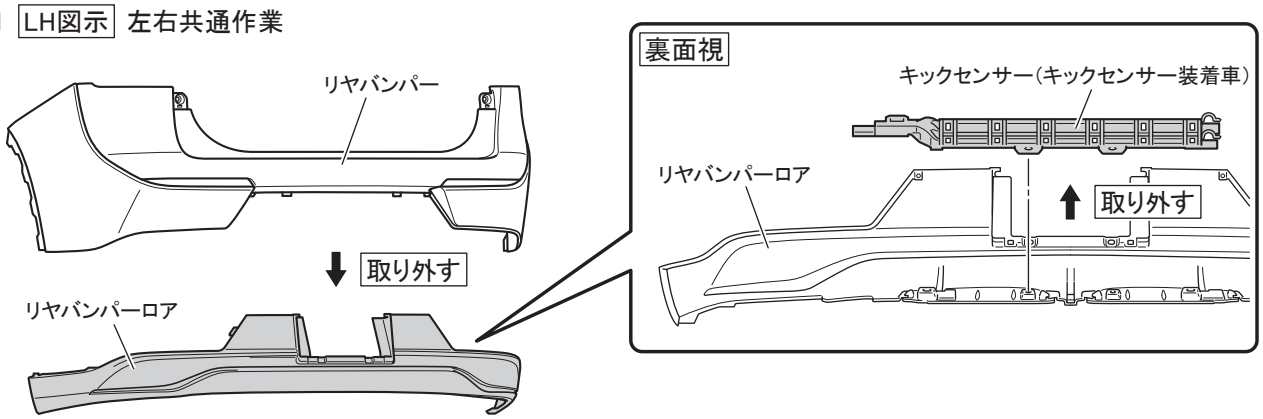
■取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行なってください。

□リヤスカート取付準備

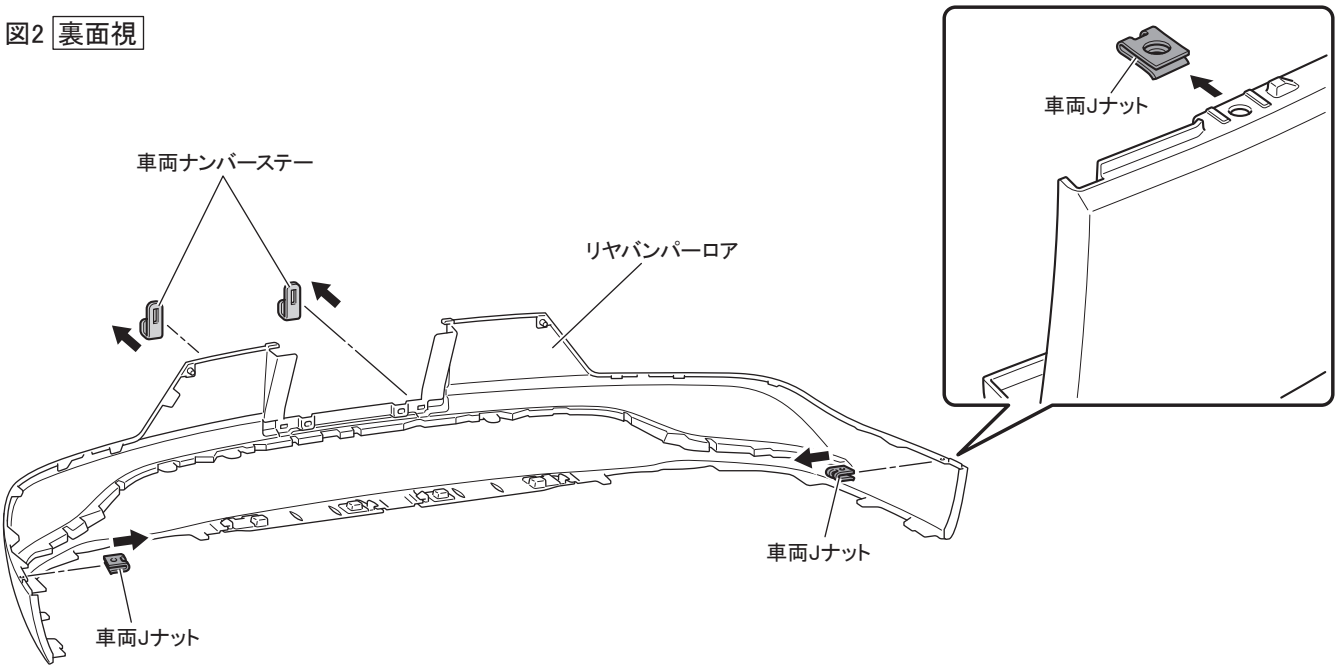
1. 該当車両の修理書に従い、車両からリヤバンパーを取り外す。
2. 図1のように該当車両の修理書に従い、リヤバンパーからリヤバンパーロアを取り外し、キックセンサー装着車のみリヤバンパーロアからキックセンサーを取り外す。

図1 LH図示 左右共通作業



3. 図2のようにリヤバンパーロアから車両ナンバーステー（左右各1箇所）、車両 J ナット（左右各1箇所）を取り外す。

図2 裏面視

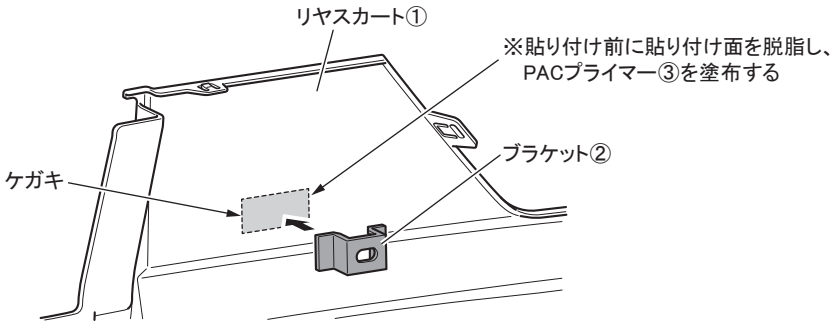


⚠ **注 意** ：・取り外したリヤバンパーロアは再使用しません。
・取り外したキックセンサー、車両ビス、車両クリップ類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

□標準車の場合 ブラケット取付要領

1. 図3のようにリヤスカート①裏面視のケガキに合わせてブラケット②（左右各1箇所）を貼り付けます。

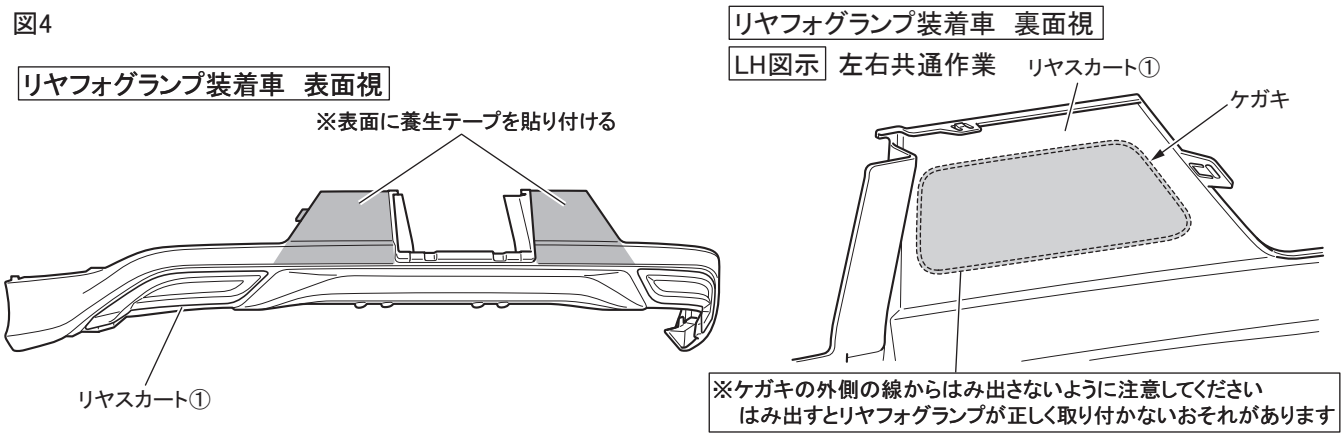
図3 LH図示 左右共通作業 標準車 裏面視



□リヤフォグランプ装着車の場合 リヤフォグランプ取付準備、取付要領

1. 該当車両の修理書に従い、リヤバンパーロアからリヤフォグランプを取り外す。
2. 図4のようにリヤスカート①表面視に養生テープを貼り付ける。
3. 図4のようにリヤスカート①裏面視のケガキに合わせてリヤフォグランプ用の穴（左右各1箇所）を開けます。

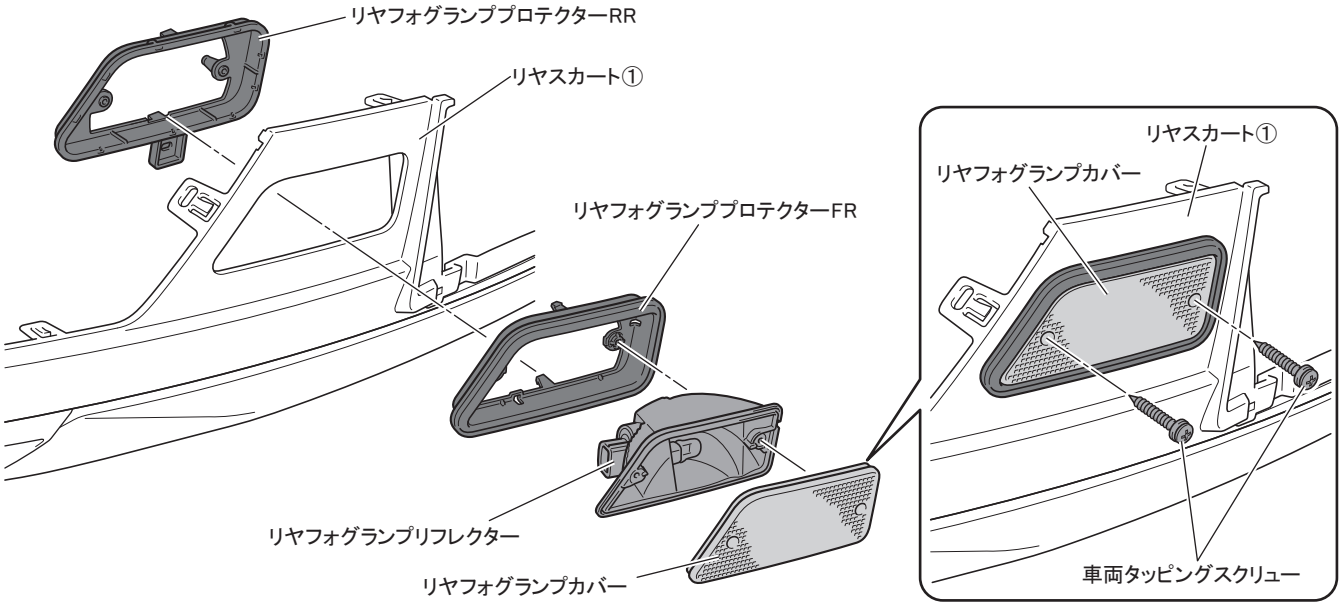
図4



⚠ **注 意** ：開けた穴のバリをヤスリで取り除いてください。

4. 図5のようにリヤフォグランプをリヤスカート①の穴あけ部に取り付ける。

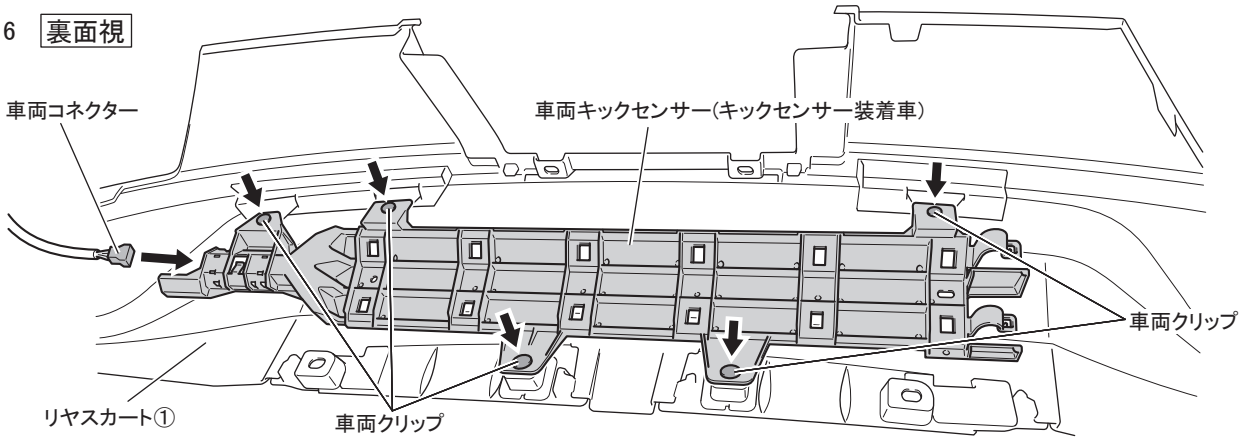
図5 LH図示 左右共通作業 リヤフォグランプ装着車



□リヤスカート取付要領

1. キックセンサー装着車のみ、図6のようにリヤスカート①にキックセンサーを移設する。
その際に車両クリップ（5箇所）を取り付け、車両コネクターを差し込む。

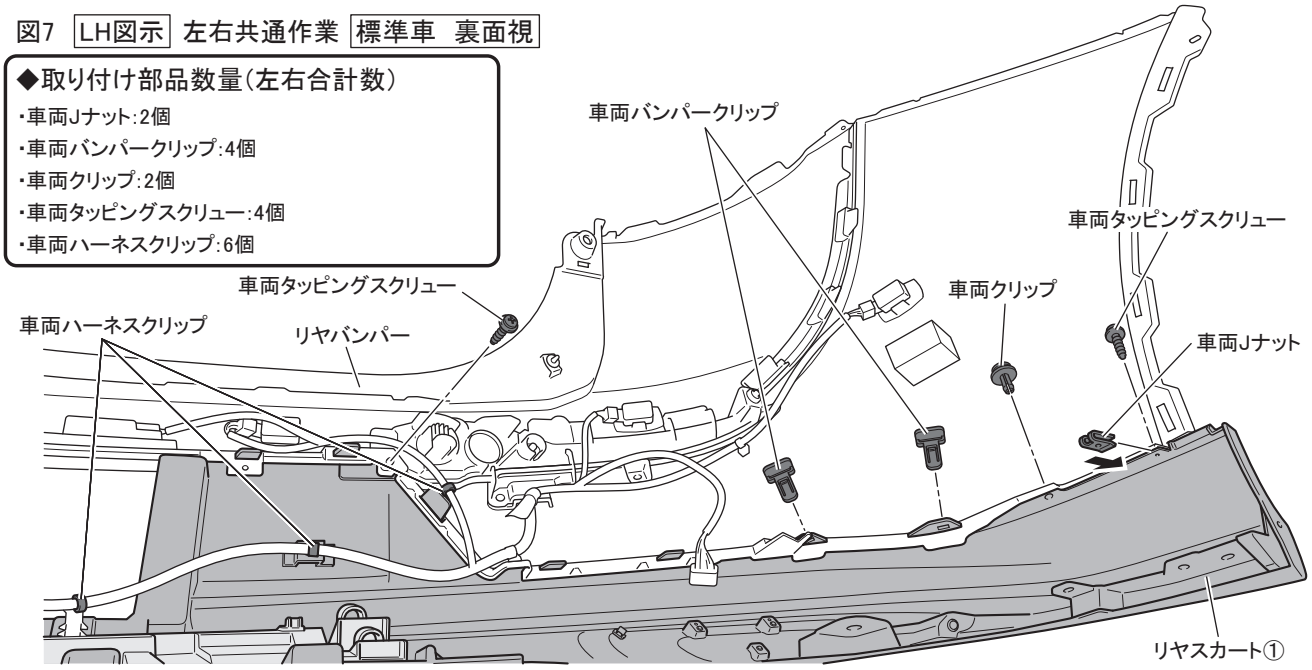
図6 裏面視



標準車の場合

2. 車両 J ナットをリヤスカート①に取り付ける。（左右各1箇所）
3. 図7のようにリヤバンパーにリヤスカート①をあて、ツメを全て差し込む。
裏面から車両バンパークリップ、車両クリップ、車両タッピングスクリューを使用して取り付ける。
車両ハーネスクリップ（4箇所）をリヤスカート①に取り付ける。
車両ハーネスクリップ（2箇所）をブラケット②に取り付ける。

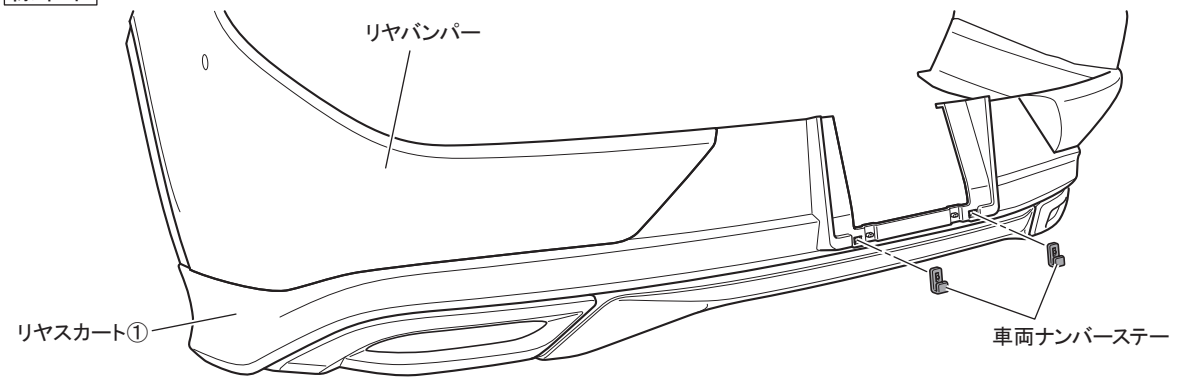
図7 LH図示 左右共通作業 標準車 裏面視



⚠ **注 意** ：車両ハーネスクリップの取り付け箇所をご確認ください。

4. 図8のようにリヤスカート①に車両ナンバーステーを取り付ける。

図8 標準車



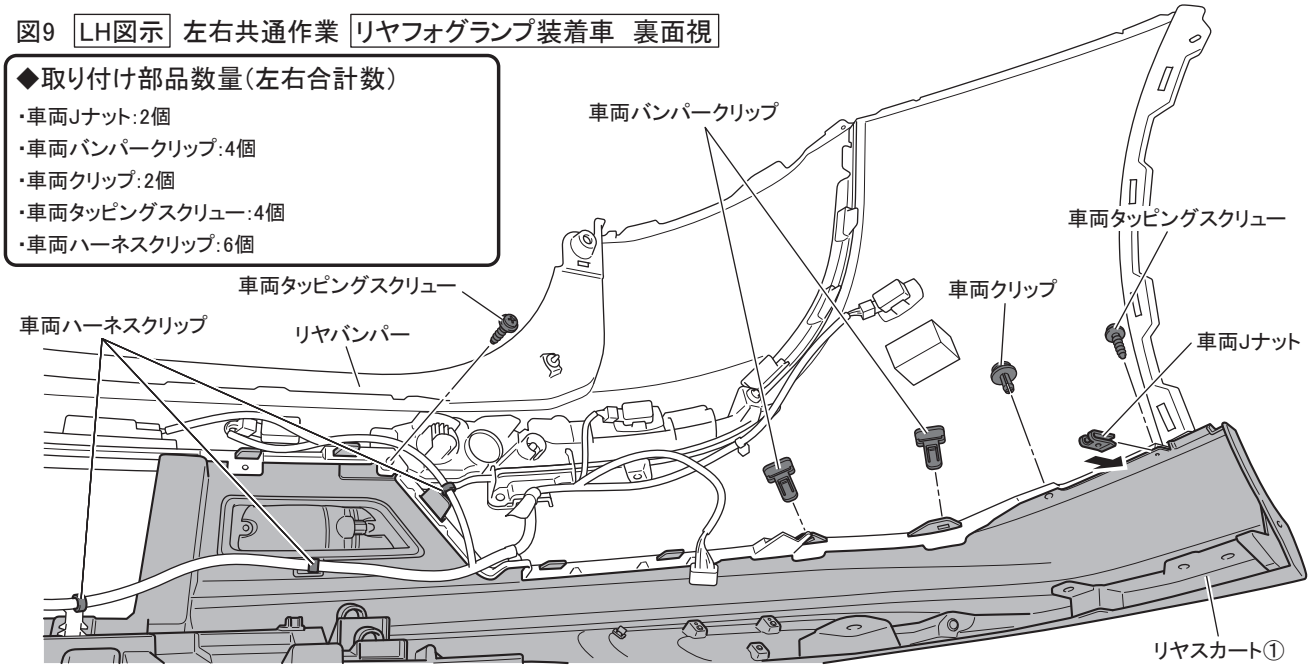
⚠ 注 意 ： 車両ナンバーステーを正しく取り付けないとナンバープレートを損傷したり、法規不適合と判断される場合があります。

5. 該当車両の修理書に従い、リヤスカート①を取り付けたリヤバンパーを車両に復元する。

リヤフォグランプ装着車の場合

2. 車両 J ナットをリヤスカート①に取り付ける。（左右各1箇所）
3. 図9のようにリヤバンパーにリヤスカート①をあて、ツメを全て差し込む。
   裏側から車両バンパークリップ、車両クリップ、車両タッピングスクリューを使用して取り付ける。
   車両ハーネスクリップ（4箇所）をリヤスカート①に取り付ける。
   車両ハーネスクリップ（2箇所）をリヤフォグランプに取り付ける。

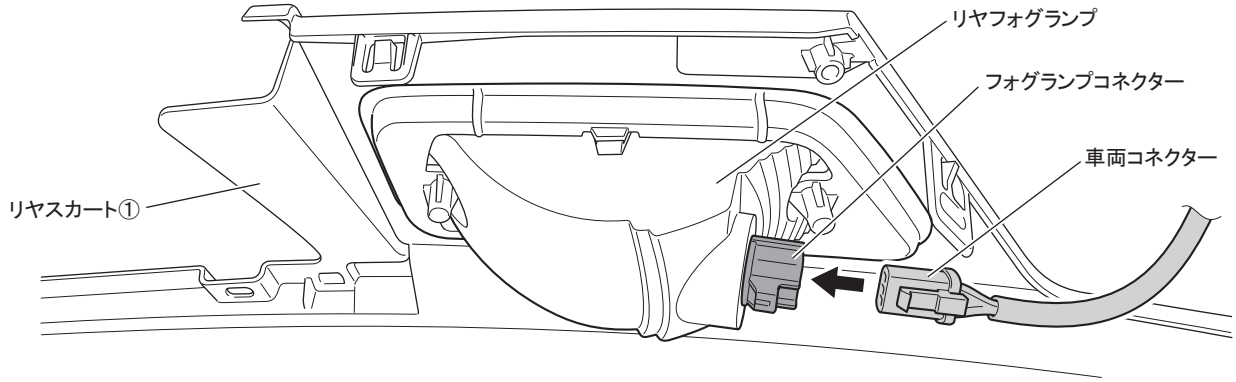
図9 LH図示 左右共通作業 リヤフォグランプ装着車 裏面視



⚠ 注 意 ： 車両ハーネスクリップの取り付け箇所をご確認ください。

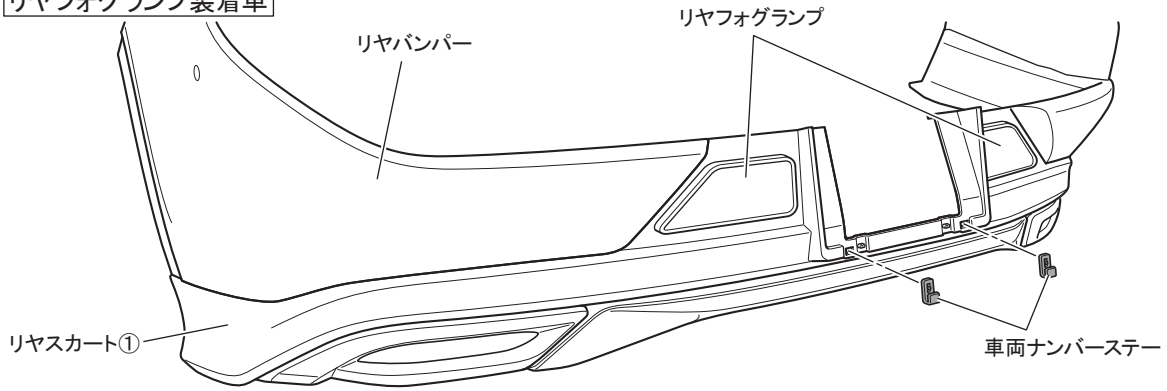
4. 図10のように車両コネクターをリヤフォグランプに取り付ける。

図10 LH図示 左右共通作業 裏面視



5. 図11のようにリヤスカート①に車両ナンバーステーを取り付ける。

図11 リヤフォグランプ装着車



⚠ **注 意** ： 車両ナンバーステーを正しく取り付けないとナンバープレートを損傷したり、法規不適合と判断される場合があります。

6. 該当車両の修理書に従い、リヤスカート①を取り付けたリヤバンパーを車両に復元する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤスカート①周りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD43-30002-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

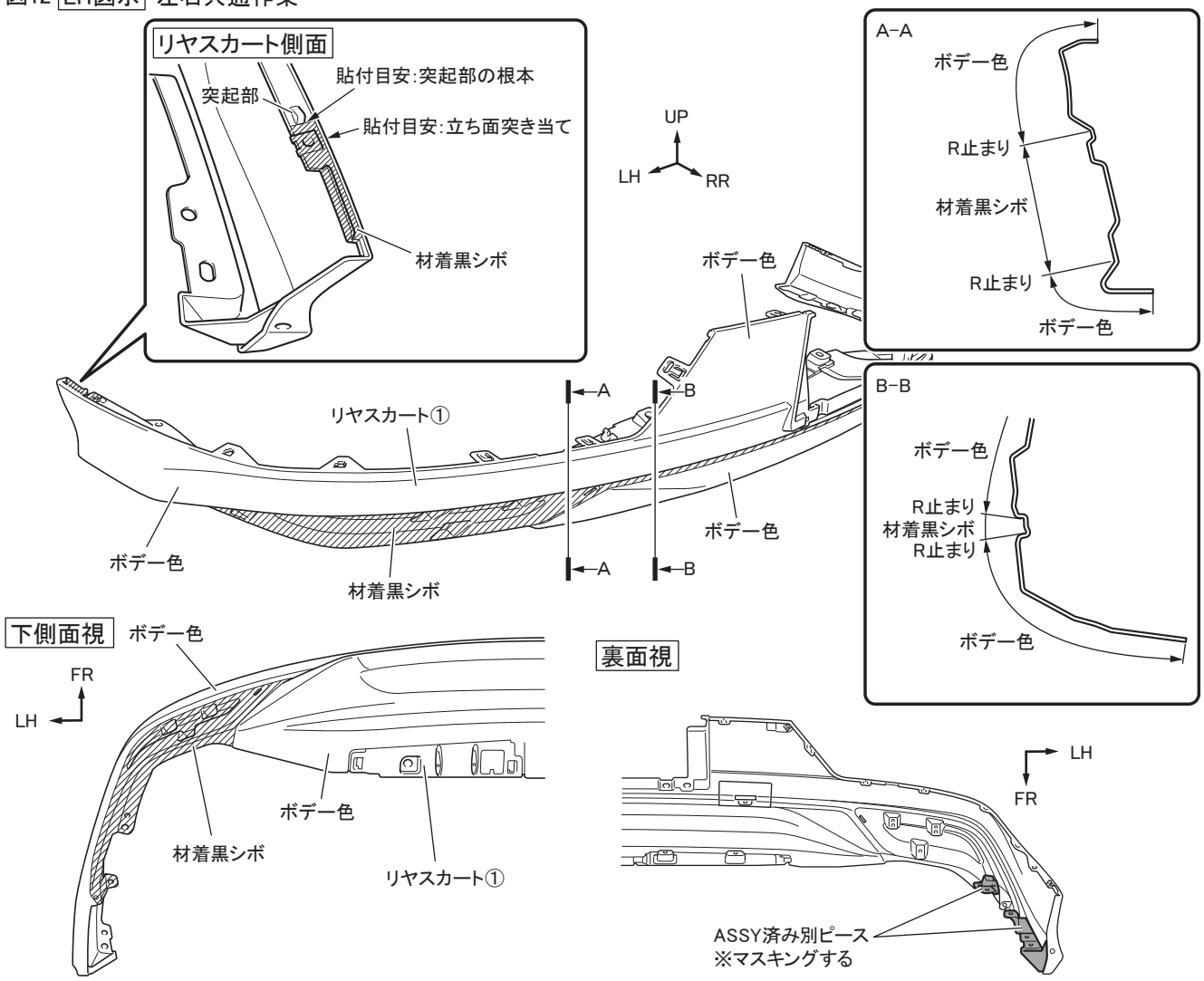
⚠ **注 意**：・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェサー塗装は販売店様にて実施してください。
・プライマーは非導電性のものをご使用ください。
・本商品の材質は PP 製です。

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

□リヤスカートの塗装

1. 図12のようにリヤスカート①の斜線部にマスキングテープを貼り付け、ボデー色で塗装する。

図12 LH図示 左右共通作業



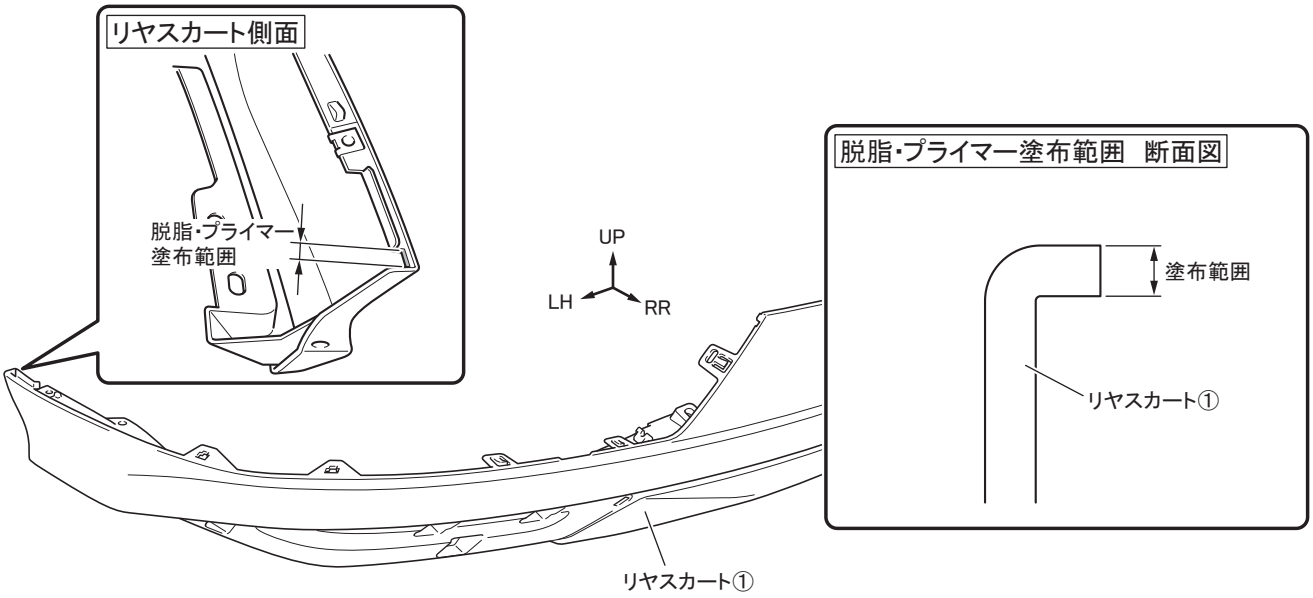
⚠ **注 意**：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

⚠ **注 意**：リヤスカート①の ASSY 済み別ピースは塗装がかからないようにマスキングしてください。

□ L 字モールの貼り付け

1. 図13のようにモール貼付部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向にふいて脱脂し、モール貼り付け部のみ PAC プライマー③を塗布する。

図13 LH図示 左右共通作業

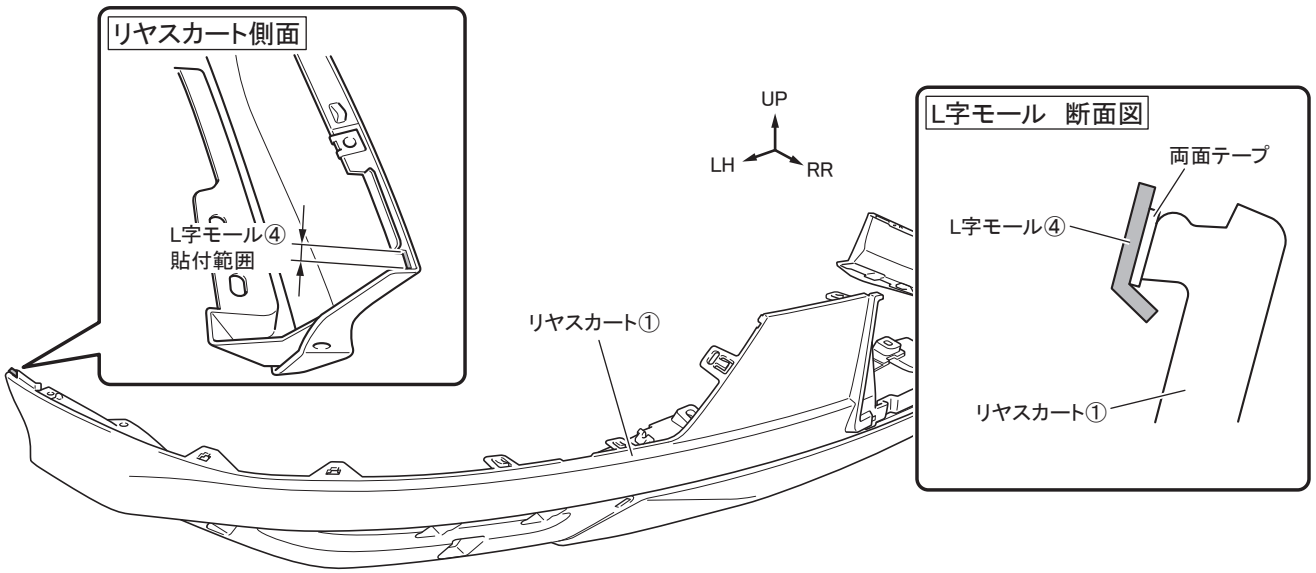


⚠ 注 意 ：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

アドバイス ：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

2. 図14のようにＬ字モール④の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け圧着する。

図14 LH図示 左右共通作業



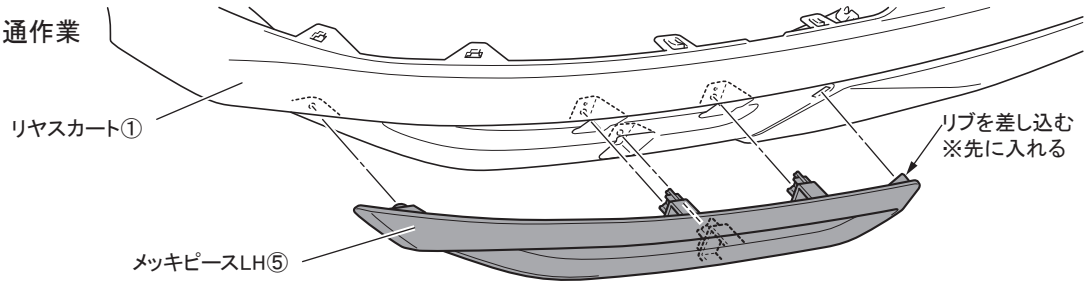
⚠ 注 意 ：両面テープの接着力を最大限発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び製品の貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

アドバイス ：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

□メッキピースの取付要領

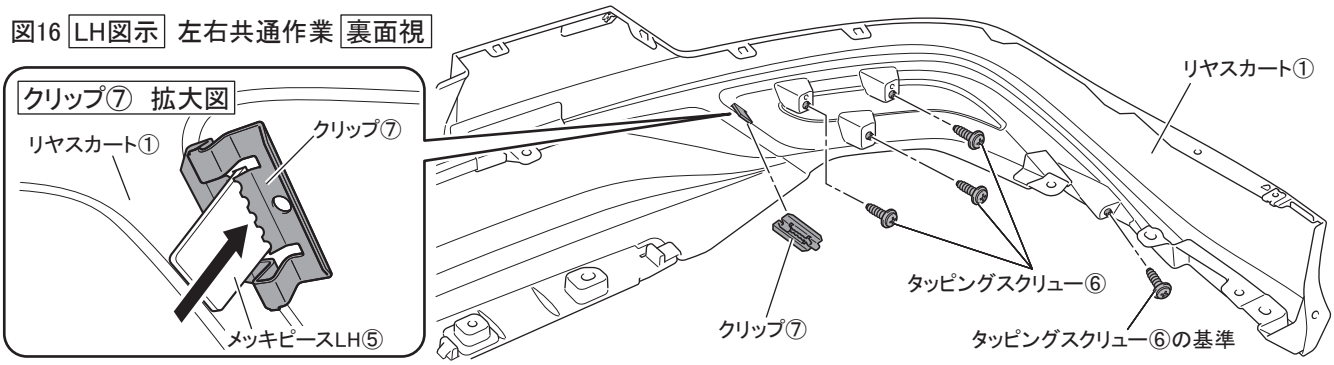
1. 図15のようにメッキピース LH ⑤をリヤスカート①表面の穴に差し、仮当てする。（左右各5箇所）

図15 LH図示 左右共通作業

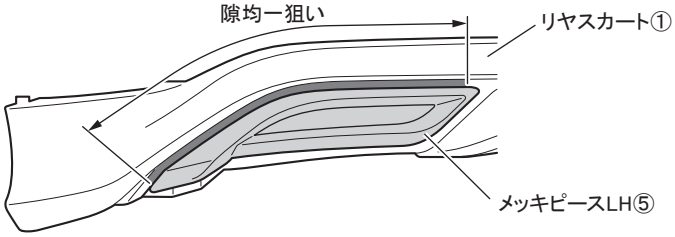


2. 図16のようにリヤスカート①裏面からタッピングスクリュー⑥の基準（左右各1箇所）を最初に組み付けた後、タッピングスクリュー⑥（左右各3箇所）を組み付け、最後にクリップ⑦（左右各1箇所）で固定する。

図16 LH図示 左右共通作業 裏面視



表面視



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL : 050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

脱脂作業要領書

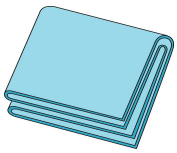
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

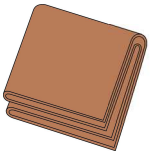
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

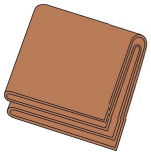
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

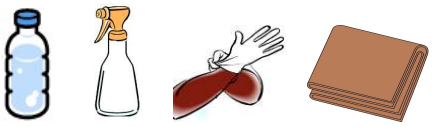
■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

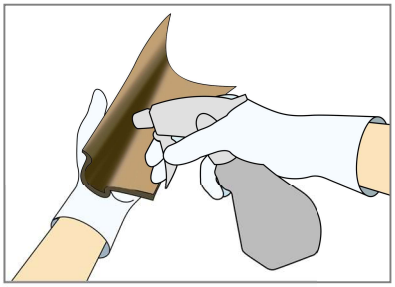
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

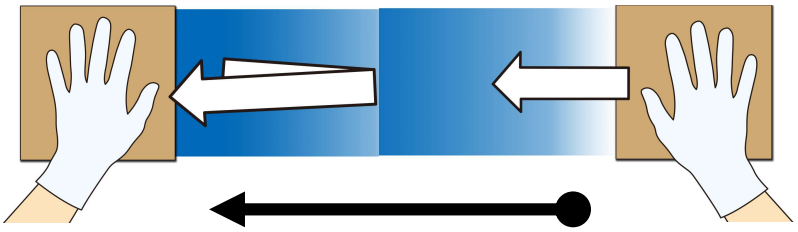


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

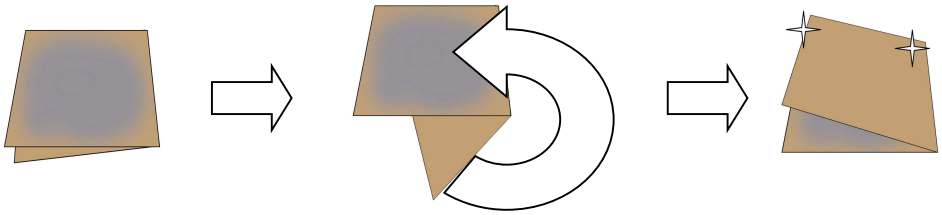
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。